

インドフード・サクセス・マクムール(INDF)

アグリビジネス事業の改善のほか、中東・アフリカ諸国のイスラム教国への輸出売上拡大による成長へ

インドネシア | 加工食品 | 業績フォロー

BLOOMBERG INDF:IJ | REUTERS INDF:JK

- 2020/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比7.0%増、営業利益が同33.2%増、純利益が同10.5%増。4事業とも増収増益となった。
- 粗パーム油相場の前年同期比での上昇により、前期まで減益基調だったアグリビジネス事業の営業利益が増益に転じた。
- 同じイスラム教で消費生活様式を同じくする中東やアフリカ諸国への輸出売上を伸ばすことが今後の成長戦略として重要となる。

What is the news ?

5/19発表の2020/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比7.0%増の19.34兆IDR、営業利益が同33.2%増の3.43兆IDR、純利益が同10.5%増の1.80兆IDR。金融利益を差し引いた純金融費用が同5.1倍の9,002億IDRと嵩んだものの、粗利率が同2.3%ポイント上昇の32.5%、その他営業収益が同5.6倍の8,406億IDRとなったことが増益に寄与。粗パーム油相場の上昇によりアグリビジネス事業が改善し、4事業すべてが営業増益となった。

セグメント別の業績は以下の通り。①即席麺、乳製品、スナック菓子、調味料、栄養食品や飲料などを包括する消費者向けブランド製品(CBP)事業は、売上高が同4.8%減の5.45兆IDR、セグメント営業利益が同11.1%増の2.02兆IDR。②小麦粉やパスタなど小麦製品のブランドを扱う「Bogasari」事業は、売上高が同7.5%増の22.83兆IDR、セグメント営業利益が同10.2%増の5,534億IDR。③アブラヤシの栽培や採油、精製、食用油、マーガリン、ショートニングなどの製品化まで一貫して行うアグリビジネス事業は、売上高が同2.5%増の3.34兆IDR、セグメント営業利益が同50.4%増の1,670億IDR。④物流事業は、売上高が同9.3%増の1.12兆IDR、セグメント営業利益が同30.8%増の761億IDRだった。

How do we view this ?

アグリビジネス事業の見通しを左右する粗パーム油価格は、新型コロナウイルス感染拡大で外食を控える動きが広がったことからアジア相場が年初から下落が継続しているものの、2020年からインドネシア政府によるバイオ30%混合のB30ディーゼル義務化が実現したことに伴う実需が中長期的には相場を下支えすると期待される。また、同社の2020/12期1Qの海外売上高は前年同期比10.2%増の2.04兆IDRとなり、海外売上高の構成比率が同0.9%ポイント上昇の10.6%となった。サウジアラビアへの輸出売上が同39.8%増の3,660億IDRとなり海外売上高の約18%を占めるなど、イスラム教という共通の宗教における消費生活様式であることのメリットを生かして中東やアフリカなどへの輸出売上を増加させることが今後の成長戦略として重要となる。2020/12通期の市場予想は、売上高が前期比6.7%増の81.75兆IDR、当期利益が同6.0%増の5.20兆IDRである。

業績推移

※参考レート 1IDR=0.0073円

事業年度	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12F	2021/12F
売上高(十億IDR)	70,186	73,394	76,593	81,754	86,709
当期利益(十億IDR)	4,156	4,166	4,908	5,201	5,755
EPS(IDR)	473.00	474.00	559.00	592.00	651.00
PER(倍)	11.84	11.81	10.02	9.46	8.60
BPS(IDR)	3,565.03	3,828.32	4,302.52	4,650.34	5,034.76
PBR(倍)	1.57	1.46	1.30	1.20	1.11
配当(IDR)	237.00	236.00	236.00	282.10	307.46
配当利回り(%)	4.23	4.21	4.21	5.04	5.49

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(IDR) **282.10** (予想はBloomberg)
 終値(IDR) **5,600** 2020/5/27

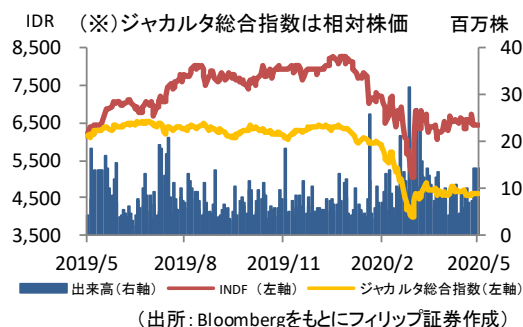
会社概要

1990年の創業以来、約20年で業界トップの総合食品会社となった。インドネシア財閥サリムグループ企業。消費者向けブランド商品(CBP)、小麦粉を生産・販売するBogasari、アグリビジネス、流通の4つの戦略的事業を行っている。

①主力の消費者向けブランド商品(CBP)は、上場子会社のインドフード・CBP・サクセス・マクムールによって運営される。インスタント麺、乳製品、調味料、スナック類、特別用途食品、飲料などを提供する。②Bogasariは、インドネシア最大の製粉事業者であり、最終製品は「Cakra Kembar」、「Segitiga Biru」、「Kunci Biru」、「Lencana Merah」などの既存ブランドのもと販売される。③アグリビジネスは、アブラヤシのプランテーションを行っており、研究開発、種子育種、油ヤシの栽培から調理油、マーガリンおよびショートニングの製造・販売までのサプライチェーン全体をカバーしている。④物流事業は、全国規模の物流能力によりインドネシア全土に同社製品や貨物の配送を行っている。

企業データ(2020/5/5)

ベータ値 1.04
 時価総額(十億IDR) 49,170
 企業価値=EV(十億IDR) 71,295
 3か月平均売買代金(十億IDR) 71.0



主要株主(2020/5)

(%)
 1.FPIML 50.07
 2.DIMENSIONAL FUND ADVISORS LP 1.48
 3.ブラックロック 1.46
 (出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 kazuhito.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>